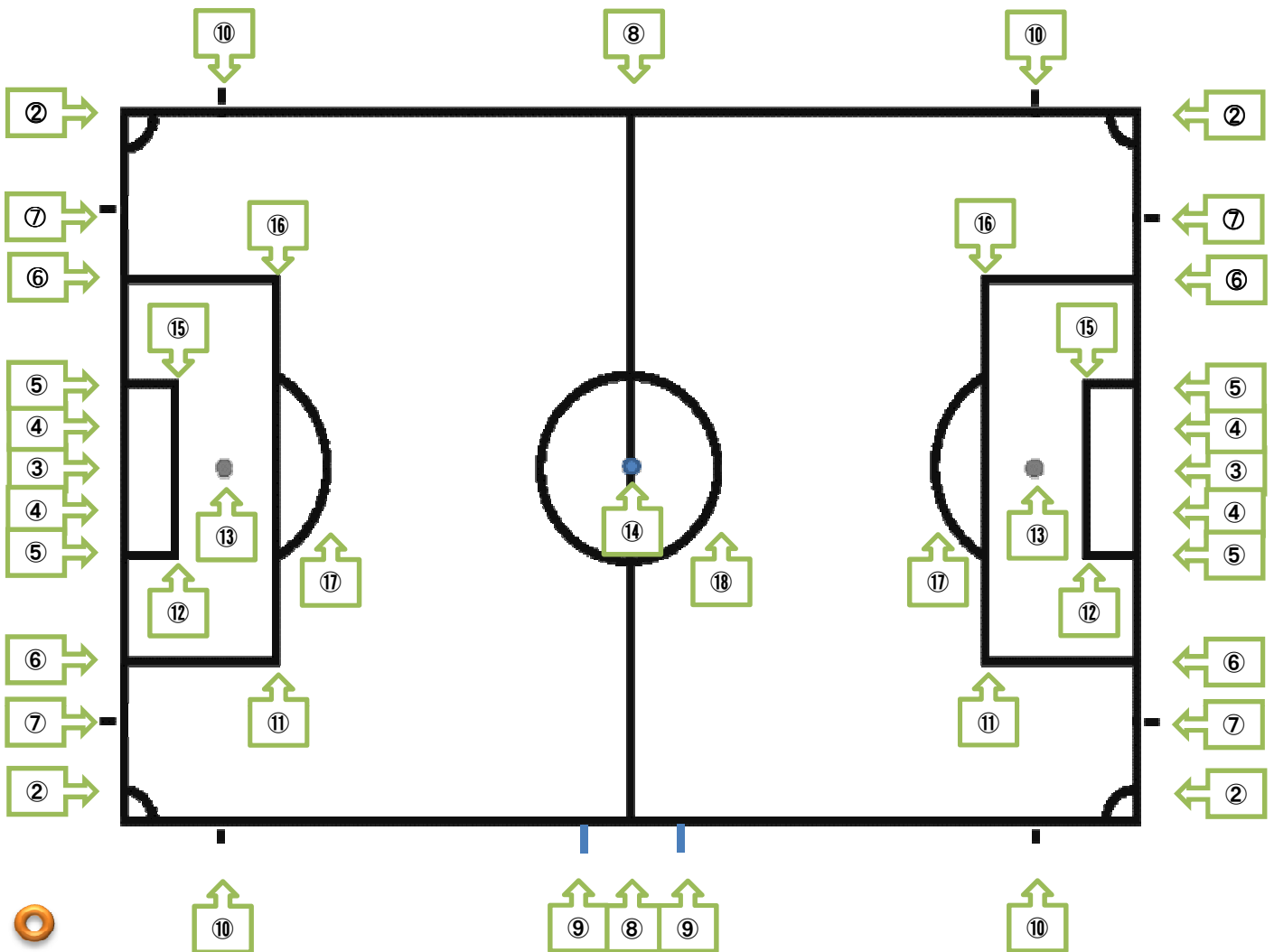


# 競技のフィールドの描き方

ここでは、少年用8人制サッカー公式サイズ（68m×50m）を例にしてみます

各パーツのサイズを憶えておくことは 前提条件ですっ よ!!



- 0) 寸法はライン(ハーフウェーライン以外)の幅(12cm)を含んでいます!! (勘違いしている方が多いようですが今一度よく考えてみてください)
- 1) 4角を決定し、①競技のフィールドの外周を描き、②コーナーアーク(1m)も描いておく
- 2) ゴールライン上に ③中心(25m)、④ポスト(22.5mと27.5m)、⑤ゴールエリア交差(18.5mと31.5m)、⑥ペナルティーエリア交差(10.5mと39.5m)、⑦任意のマーク(8mと42m)、のポイントをマーキングする
- 3) タッチライン上に、⑧中心(34m)、⑨自由交代エリア(31mと7m)、⑩任意のマーク(8mと60m)、のポイントをマーキングする
- 4) 対面のゴールライン上の、ペナルティーマークから順にメジャーで当てながら、⑪12mと56m(ペナルティーエリア角)、⑫4mと64m(ゴールエリア角)、⑬8mと60mに直径23cm(ペナルティースポット)、⑭34mに直径23cm(センタースポット)、⑮4mと64m(ゴールエリア角)、⑯12mと56m(ペナルティーエリア角)、で内部の位置を決定していく
- 5) ⑰ペナルティーアーク(ペナルティースポットから7mのアーク)と⑱センターサークル(センタースポットから7mのサークル)を描く
- 6) 任意のマークは ゴールライン/タッチラインから それぞれ8m(正しくはコーナーアークから7mですが、コーナーアークが正確に1mで描いてくれているとは限らないので...)外に5cm離して30cmの直線を引く